週間天気予報解説資料

2024年5月2日10時00分発表
気象庁

予報期間　5月3日から5月9日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 5日から6日にかけては、高気圧が日本の東から日本のはるか東へ移動する。
- 6日から8日にかけて、前線を伴った低気圧が黄海から北日本を進む。
- 9日は、東海道沖で低気圧が発生する。

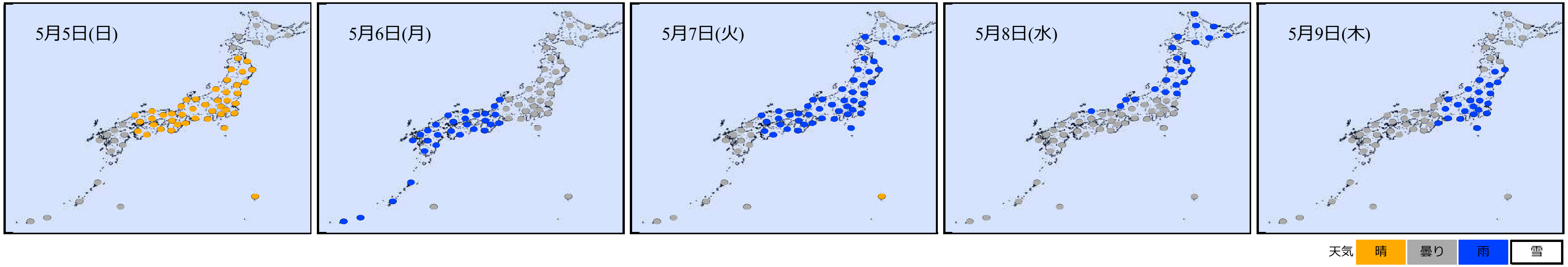
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 北日本と東日本では、気温が平年より高く、かなり高くなる日がある。積雪の多い所ではなだれ等に注意。
- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

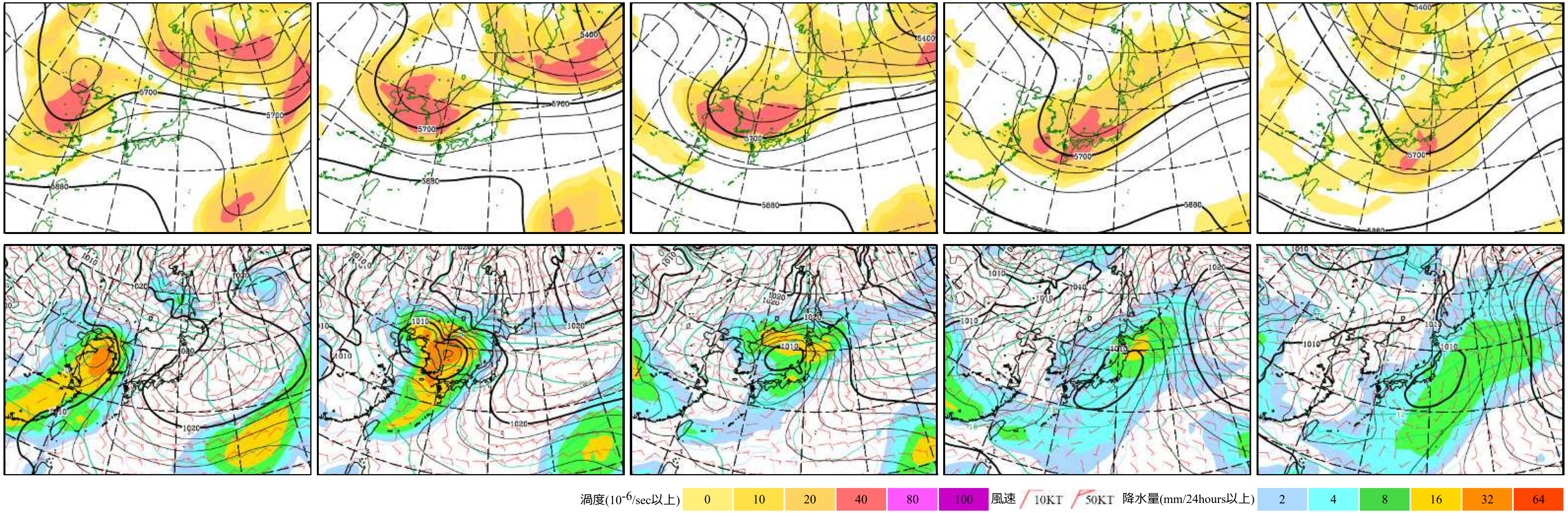
◆10時時点の３～７日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



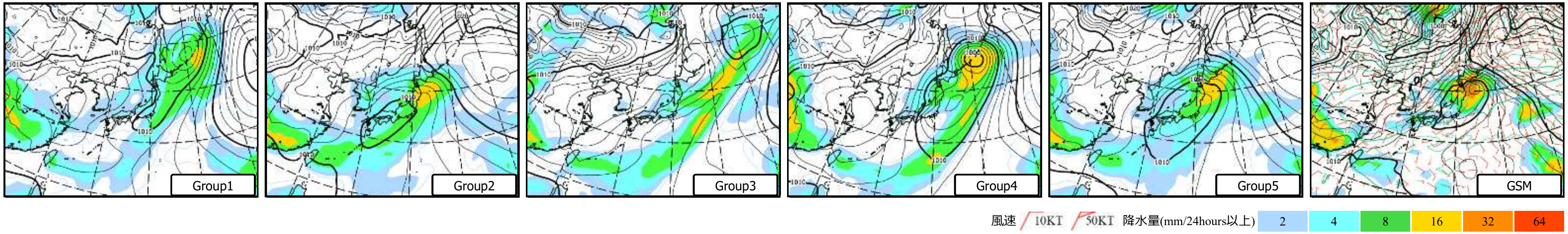
- 北日本から西日本では、5日は晴れる所が多いが、6日以降は雲が広がりやすく雨の降る日がある。
- 沖縄・奄美では、晴れ間もあるが雲が広がりやすく、6日は雨が降る。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)

5月5日(日)　5月6日(月)　5月7日(火)　5月8日(水)　5月9日(木)



◆5月8日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図　海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 7日までは、昨日の予想との変化は小さいが、6日頃のオホーツク海高気圧が明瞭となった。
- スプレッドは8日から大きく、8日のENSクラスター平均の各グループでも日本付近の低気圧の位置にばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。